

中国語教育学会会報

第 38 号(通巻 63 号) 2014 年 3 月 13 日発行

192-0393

東京都八王子市東中野 742-1

中央大学法学部 佐藤富士雄研究室内

中国語教育学会

HP <http://www.jacle.org/>

Email headoffice@jacle.org

郵便振替口座 00110-1-191152

目次

- (1) 2013 年度第 2 回理事会・編集委員会開催
 - (2) 2014 年度全国大会研究発表・実践報告者募集のお知らせ
 - (3) 事務局からのお知らせ
 - < 資料 > 会長選挙開票証明書
-

(1) 2013 年度第 2 回理事会・編集委員会開催

本学会2013年度第2回理事会が、以下の通り開催されました。

【日時】2013年12月7日(土) 11:20~14:12

【会場】日中学院(東京都文京区)302号室

【出席者(敬称略)】佐藤富士雄(会長)/三宅登之/山田眞一(以上、代表理事)/大川完三郎/加藤晴子/清原文代/胡興智/田邊鉄/陳淑梅/丸尾誠/村上公一(以上、理事)/原正人(幹事):以上12名

【欠席者(同上)】郭春貴/平井和之/藤井達也/山崎直樹(以上、代表理事)/荒川清秀/岩本真理/植村麻紀子/日下恒夫/佐々木勲人/西香織/古川裕/依藤醇(以上、理事)/大宅利美/桑野弘美(以上、幹事):以上14名 なお、佐々木理事からは「一任する」との意思表示があった。

理事会および編集委員会における主な議題と審議内容は、以下の通り。

【議題1】次期会長選挙について

まず、会長が次期会長選挙の開票について報告した。開票は2013年12月5日(木) 村上公一・大川完三郎両理事による立ち会いのもとで行われた(資料「会長選挙開票証明書」参照)。開票結果は以下の通り。

< 投票数 >

・投票総数:207票 有効票数:202票 無効:5票(提出遅れ、6人以上投票など)

< 結果 > (敬称略)

- | | |
|-------------------------|--------|
| 1. 郭 春貴(広島修道大学) | ...55票 |
| 2. 三宅 登之(東京外国語大学) | ...53票 |
| 3. 平井 和之(日本大学) | ...41票 |
| 4. 加藤 晴子(東京外国語大学) | ...36票 |
| 5. 相原 茂(中国語コミュニケーション協会) | ...33票 |
| 清原 文代(大阪府立大学) | ...33票 |
| 7. 丸尾 誠(名古屋大学) | ...32票 |

8. 山田 眞一（富山大学） ……27 票
 9. 日下 恒夫（関西大学） ……23 票
 10. 陳 淑梅（東京工科大学） ……22 票

これを受けて、郭代表理事および三宅代表理事が在外研究中、および校務多忙などの理由で辞退し、理事会で承認された。その後、3 位であった平井代表理事に次期会長就任を依頼し、就任する方向で検討している。

【議題 2】会誌『中国語教育第 12 号』編集関連

投稿原稿は全部で 16 編あり、論文 6 本、実践報告 1 本が掲載可と判断された。

投稿規程に著作権に係る事項をどう盛り込むかについて編集委員会における協議をふまえ、理事会で審議した結果、著作権を筆者に付与する方向で投稿規程の文言を検討することとなった。

現編集委員のうち 4 名が交代し、あらたに奥田寛会員（姫路独協大学）および藤井達也代表理事（埼玉県立伊奈学園総合高等学校）、西川和男会員（関西大学）および白銀志栄会員（神田外語大学）が編集委員となることが承認された。現編集委員の互選により、佐々木勲人理事（筑波大学）が次号（第 13 号）の編集委員長に選ばれた旨の報告があった。

【議題 3】第 12 回全国大会会場および日程決定の件

次に、次年度全国大会の日程について審議された。次年度全国大会は 2014 年 6 月 7 日・8 日(土・日)、大東文化大学板橋キャンパスにて開催されることが決定した。全国大会報告のエントリー募集については、下記を参照のこと。

【報告事項 1】今年度の研究会開催状況

本年度の地区研究会は現在までに 6 回開催された。そのうち、担当理事より第 3 回研究会（愛知県開催）について補足の報告があった。それによると、出席者は 122 名で、内訳は愛知県立大学から学生など 23 名、愛知大学孔子学院より 16 名のほか、関東や関西からも出席者があった。また、中国語学習者が 39 名参加するなど、中国語教員以外の出席も増加したため、今後は広報のあり方も再考する必要があるとのことであった。

< 会報第 35 号発行後に開かれた研究会 >

第 5 回研究会 2013 年 11 月 9 日(土) 於：大東文化会館

・鈴木万里子（大東文化大学・院）「大陸と台湾の語彙の差について—《紫岸生活小词典》を中心に」

・瀬戸口律子（大東文化大学）「18 世紀琉球久米村の中国語教育について（続）」

第 6 回研究会 2013 年 12 月 14 日(土) 於：日中学院

・蘇紅（立教大学）「色彩語の日中対照研究—赤・黄・黒・白の四色を例として対照する場合」

・邵永海（日本大学 / 北京大学）「关于汉字在对日汉语教学中的特殊价值—以汉字为起点和核心的教学设计」

・林艳（東京外国語大学 / 北京語言大学）「日韩学生学习汉语风格的差异对比及其背后的民族性格因素」

【報告事項2】会員動態報告（下記は2014年2月15日現在）

<会員数（除：不明者）>

・一般会員：468名 ・名誉会員：11名：昨年同時期より+8名

<新規入会者：前回会報発行時以降（2013年8月）>：8名（氏名などは下記）

<退会者・除名者・不明者>

・退会者（年度末をもって退会予定も含む）：5名 ・除名者：23名 ・不明者：11名

<会費納入状況>

・全入金者（人数ベース）：一般会員338名、名誉会員11名

→363名（名誉会員含む、納付率77.6%）：合計に差があるのは不明者に未納者がいるため

・全入金者（金額ベース）：2013年度請求額：342万5千円、入金額203.5万円

→59.4%：ただし、除名者の分も請求額に含み入れている

【懇談事項1】地区研究会

これについては、「地区」という区分そのものを廃止するのかなどについて話し合われたが、まだ議論が必要であるとの結論に達した。したがって、この問題については次期の執行部および理事会に申し送ることとなった。

【懇談事項2】講演などの謝礼および交通費について

本項は前期理事会からの継続審議であるが、これらの費用を地区研究会費でまかなうか、新たな規定を作るかについて、おおよその方向性を出すこととなった。これに対して、会員と非会員、遠いか近いか、有名か無名かなどで講演料は変わってくるのではないかという意見が出た。さらに、今年の全国大会で講演料と交通費を払ったように、非会員の講演や報告で依頼の場合は払うことにすればいいのではないか、そうでないと呼びにくくなるのではないか、という意見もあった。さしあたって今回は、ある程度の講演料を払うという方向で次期執行部に申し送ることとなった。

【懇談事項3】理事会交通費

まず会長から、理事会交通費の問題については、金額も大きいので、会員に納得してもらえよう明確化すべきではないかと提案があり、幹事より現在の理事会交通費に関して説明があった。これに対して、宿泊パックの場合を内規に入れてほしいという意見や、会議の開始時刻で宿泊をつけるという案も示された。今回の理事会においては、「宿泊パック」の場合を含み入れたうえで、関東開催についてはこの案を次期執行部に申し送ることとなった。

【懇談事項4】関東地区セミナーについて

関東地区セミナーは、現在のところ三宅登之代表理事ひとりの担当という状況であることもあって、今期執行部発足以来ほとんど活動停止状態にある。会長から、来年夏頃には再開第1回のセミナーを開く必要があり、協力をお願いできそうな方々に打診したところ、佐々木勲人理事、陳淑梅理事、村上公一理事の協力を得られることになった旨報告があり、委員の人選、活動の方

針ともに了承された。

【懇談事項5】会長選挙のあり方について

まず本学会の会則が配布され、会長から趣旨説明があった。それは概ね以下の通りである。

現在は会長選挙についての明確な規定あるいは内規がなく、現行の「5名連記」の有効性についても、複数の会員から疑問が呈されていた。また、例えば日本中国語学会の場合、会長・副会長・理事（全部で8名）で重要な問題を討議し、評議員会によって承認される形となっている。それに対して本学会は代表理事と理事が合わせて22名おり、その人選は基本的に会長に委ねられている。

こうした現行の制度でやっていくには問題が多いのではないか。こうした問題をめぐって、会長選挙のあり方、理事会のあり方について意見を集め、次期執行部に向かって申し送りをしたい、と。そのうえで、主に以下の事項について審議した。

会長補佐（副会長）について

会長選挙における現行の「5名連記」について

理事の数について

代表理事の職務について

会長選挙の改革について

これらについて理事から非常に多くの意見が出され、活発に議論がなされた。今回は決定でなく意見収集に重点が置かれていたため、これらの意見を時期の執行部および理事に委ねることとした。

（2）2014年度全国大会の研究発表・実践報告者募集のお知らせ

第12回全国大会は2014年6月7日(土)、8日(日)に大東文化大学板橋キャンパス（東京都板橋区高島平1-9-1）で開催いたします。つきましては下記の通り研究発表・実践報告者を募集いたしますので、奮ってご応募ください。

記

応募資格：中国語教育学会会員で、応募時点で2013年度までの会費を全て納入していること。

共同発表の場合は、筆頭発表者が上記の条件を満たすこと。

内 容：広く中国語教育に関わるもの。但し未発表のものに限る。

応募方法：発表者原簿を学会ホームページ（「全国大会」欄）よりダウンロードし、必要事項を記入のうえ、大会準備委員会宛にメール（2014annual@jacle.org）にて送付する。

締 切：**2014年3月31日必着。**

締切後、大会準備委員会にて審査を行い、採用が決まった方には正式な発表・報告依頼を差し上げます。

中国語教育学会第12回全国大会準備委員会責任者 瀬戸口律子（大東文化大学）

Tel：03-5399-7370 Fax：03-5399-7371

(3) 事務局からのお知らせ

1) 年会費納入のお願い

今年度も多数の会員から会費を納入頂きましたが、学会全体で見ますと、いまだ納付率は例年並みにとどまっております。このような状況が続きますと、ひいては本学会の十全な活動に支障を来す可能性もございます。

まだ今年度までの学会費の納入がお済みでない場合も、随時受付けております。振替用紙に氏名、住所、何年度の年会費であるかなど必要事項をご記入の上、年会費 5,000 円 (1 年分) をお振り込みください。また、滞納のある方は、一括して納入いただくと幸いです。学会の円滑な活動のために、ご協力いただけますようお願い申し上げます。また、もし学会費納入状況についてご不明な点があれば、事務局までご連絡ください。

2) 新会員のお知らせ (2013 年 9 月以降入会分)

平川 彩子 (久留米大学) / 泉 杏奈 (一橋大学・院) / 王 安 (関西学院大学) / 小川 典子 (大阪大学・院) / 中村 俊弘 (関西外国語大学) / 今井 佳子 (目白大学・非) / 程 遠巍 (立命館大学) / 潘 英峰 (奈良女子大学)

3) 情報提供のお願い

中国語教育に関する研究会・シンポジウムなどを開催される際には、事務局にご一報くださいますようお願いいたします。本学会ホームページ (<http://www.jacle.org/>) において広く通知いたします。

< 資料 > 会長選挙開票証明書

記

【選挙名】中国語教育学会 2014 年度会長選挙

【開票日】2013 年 12 月 5 日 17 時から

【開票場所】中央大学多摩キャンパス 6 号館

以上の選挙について、正当な手続きに基づき、正確かつ公正な開票がなされたことをここに証する。

村上公一
大川完三郎

以上